

備前市事務事業評価表

事務事業名	水産資源回復事業	コード	04-01-03-02
		担当課・係	日生総合支所産業建設課・水産係
		担当者	濱山 一 泰
		電話	0869-72-1254
事業実施期間	平成17年度～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり	
	小項目(施策)	水産業	

事業について	
目的 (何のために)	サワラ資源の回復
対象 (誰・何を対象に)	地元漁業協同組合等
内容	県水産試験場等からの指導により、サワラの中間育成に対する支援

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
支援従事日数		10 日	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等			
	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担			
	市債	市債	市債	市債	市債	市債	市債	市債			
合計	0	一般財源等	0	合計	976	一般財源等	976	合計	0	一般財源等	0

必要人員	人		0.14		人	
結果指標	結果指標名	支援従事日数				
	結果指標量	10				
	単位	日				
	対前年比	-		0.00%		
	活動にかかるコスト	円	976,000	円		
	単位当たりコスト	円	97,600	円		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	サワラ資源の回復		
成果指標名	歩留まり	式又は説明	放流尾数 / 受け入れ尾数
	17年度	18年度	
成果指標量	-	40%	
対前年比	-		0.00%
到達目標値	60%	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	県の放流追跡効果による種苗放流による資源増大が極めて有効であることが実証されており、妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	中間育成中、県職員の派遣に対する市費の負担はない。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	H18サワラの放流効果調査結果（標識魚の混獲率） ・1才魚 10% ・2才魚 7% ・3才魚 7% ・4才魚以上 9% 資源増大に種苗放流が有効である。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 中間育成に対する支援に加え、補助金を交付
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 12日	
	成果指標量 60%	

総合評価		評価区分 <A~E>
サワラは岡山県を代表する出世魚であるとともに観光振興の面でもPRしており、備前市でも市魚に選定しているが、近年著しく減少している。サワラの種苗生産に取り組むなど、資源増大・回復を図る必要がある。また、将来的には中間育成技術を漁業者へも普及し、漁協と県で実施できる体制を確立する。		B

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果